

埼玉経協

SAITAMA Employers' Association

ニュース

[CONTENTS]

- 02 令和6年「新年会員懇談会」
挨拶・特別講演の部、懇親会の部
- 03 令和6年 新年会員懇談会 写真集
- 04 第22回（令和5年度）「渋沢栄一賞」表彰式
- 05 **第3回特別セミナー** 「脱炭素を目指す経営革新と会計セミナー」
- 05 **第4回特別セミナー** 「潜在力を引き出し、経営力を再構築」
- 06 **第5回特別セミナー**
「第3回アトツギ甲子園・東日本ブロック大会に出場して」
- 06 **第8回特別セミナー** 「SNS活用課題一挙解決 セミナー」
- 07 **第7回特別セミナー**
「デジタル時代の組織と個人のアップデートセミナー」
- 07 **第5回トップセミナー**
「経営戦略としてのホスピタリティ・マネジメントセミナー」
- 08 **企業戦略研究会** 「那珂核融合研究所視察会」
- 09 **教育関連事業** 「キャリアデザインセミナー
～企業経営者と生徒・保護者・教員による四者面談会～」
- 09 **第2回SDGs委員会**
「三菱マテリアル株式会社 さいたまオフィス職場視察」
- 10 **第1回SDGs委員会** 発達障害者雇用に向けた企業支援セミナー
- 10 **第4回SDGs委員会** 障害者雇用促進セミナー
- 10 **第3回SDGs委員会** 特別支援教育の現場視察と意見交換
～県立大宮北特別支援学校さいたま西分校～
- 11 **青年経営者部会**
12月例会・講演「メーカーとしてのSDGs活動推進事例」
- 11 **青年経営者部会**
千葉・茨城との3県合同例会「高松宮記念 JFA 夢フィールド視察会」
- 12 埼玉大学研究者との出会いの広場
- 13 「ものづくり大学」へようこそ
- 14 埼玉県からのお知らせ
- 16 ワンポイント労働法
- 16 告知版、会員の動き



新年会員懇談会

》令和6年新年会員懇談会

新年会員懇談会を開催 会員145名が参加

日時 1月12日(金) **場所** パレスホテル大宮

参加者 145名

開会挨拶をする
原 敏成 会長



令和6年の新年会員懇談会はパレスホテル大宮で通常開催された。第1部の冒頭では1月1日に発生した能登半島地震の犠牲者を悼み、1分間の黙祷を捧げると共に本会より日本赤十字社を通じて50万円を寄付したことを廣澤専務理事より報告した。その後原敏成会長の開会挨拶、ご来賓の方々による祝辞、事務局報告に続いて特別講演（内容は下段）を行った。

第2部の懇親会では来賓を含めた多数の参加者により和やかに新年の懇親を深めた。

【第1部 挨拶・特別講演の部】

開会挨拶 会長 原 敏成(武州瓦斯(株)代表取締役社長)

来賓祝辞 埼玉県知事 大野 元裕 様

財務省関東財務局長 伊野 彰洋 様

厚生労働省埼玉労働局長 久知良 俊二 様

埼玉県教育委員会教育長 日吉 亨 様
連合埼玉会長 平尾 幹雄 様

事務局報告 専務理事 廣澤 健一

特別講演 演題 「人間学講座 感動経営と笑い
～そこまでやるか～」

講師 NPO 法人健康笑い塾
中井 宏次 様

【第2部 懇親会の部】

開宴挨拶 副会長 増田 文治

(株)マスタック 代表取締役会長)

来賓祝辞 さいたま市長 清水 勇人 様

乾杯 埼玉大学学長 坂井 貴文 様

閉宴挨拶 副会長 福岡 聡

(株)埼玉りそな銀行 代表取締役社長)

》令和6年新年会員懇談会 特別講演

【人間学講座】感動経営と笑い～そこまでやるか～

講師 NPO 法人健康笑い塾 中井 宏次 氏

講演する
中井 宏次 氏



1. 社会の変遷: コロナ禍で人と人のコミュニケーションを取る場が減少し、その結果「伝えたいが伝わらない」「創造性のある仕事ができなくなった」という事象が発生することが多くなった。これからの社会で求められるのは、「伝わる」ために情報+感動が必須となり、そのためにはおもてなしの心を持った対応により、顧客の満足より更に上のレベルである「そこまでやるか」という感動を与えることが可能となる。

2. 感動を生み出す企業風土とは: 地位や経験に捉われず素直にものが言える企業風土を構築するため、「おもしろいなあ いっぺんやってみ なかようやりや」をキーワードとした心理的安全性を醸成することが必要。そういった企業風土が心理的安全性を生み、それが社員の潜在意識に働きかけることによって、人間関

係力の向上に繋がる。そうしたことにより新規事業の企画立案(知恵が集まる)、組織活性化(人財が集まる)、ひいては職場規範の向上にも繋がるなどの好循環を生み出すことになる。

3. 笑い(ユーモア)の効用: 病気原因の50%はストレスを起因とするものであり、身体的健康のためにはメンタルヘルスの向上が欠かせない。また笑うことにより人間関係力が向上し、その結果として職場の活性化に繋がる。職場が活性化することにより、企業としての創造力と企画力が上がり、顧客に感動を与える商品、サービスの提供ができるようになる。

4. 会員の反応: 「新年から明るいテーマの講演で、とても良かった」「講師の話術も巧みで、関心を持って聞くことができた。」

》令和6年 新年会員懇談会 写真集

第1部 挨拶・特別講演の部



開会挨拶 原敏成会長



来賓祝辞 大野元裕埼玉県知事



会場風景



特別講演の風景



特別講演の中井宏次講師

第2部 懇親会の部



開宴挨拶 増田文治副会長



来賓祝辞 清水勇人さいたま市長



乾杯挨拶 坂井貴文埼玉大学学長



懇談風景 役員の皆さま



懇談風景 清水市長、中井講師、ご来賓、役員の皆さま



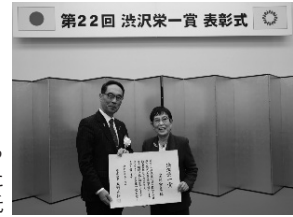
閉宴挨拶 福岡聡副会長

渋沢栄一賞表彰式

》第22回(令和5年度) 渋沢栄一賞表彰式

古泉 肇氏、本庄 八郎氏、室崎 富恵氏の三氏が 渋沢栄一賞を受賞

日時 2月6日(火) 場所 ソニックシティ・国際会議室



大野 元裕 埼玉県知事から
賞状を受け取った
室崎 富恵氏

第22回(令和5年度)の渋沢栄一賞は、亀田製菓株式会社(新潟県新潟市)元代表取締役会長 古泉肇氏、株式会社伊藤園(東京都渋谷区)代表取締役会長 本庄 八郎氏、社会福祉法人いわみ福祉会(島根県浜田市)理事長 室崎 富恵氏の三氏が受賞し、表彰式が行われた。

「渋沢栄一賞」は、多くの企業の設立や育成に携わる一方で、福祉や教育などの社会事業にも尽力した渋沢栄一の生き方や功績を顕彰するとともに、今日の企業家のあるべき姿を示すため、渋沢栄一の精神を今に受け継ぐ全国の企業経営者を表彰するもの。受賞者および受賞理由は次のとおり。

(受賞者は50音順)

❖古泉 肇氏(亀田製菓株式会社元代表取締役会長)

◇会社概要◇

米菓製造業、その他のパン・菓子製造業、1946年創業、従業員数3,858人(連結)



◇優れた経営◇

- ・1965年、亀田製菓(株)に入社。同社を米菓業界で全国トップシェアを占める企業に成長させる
- ・製造から流通までの工程と品質管理を科学的に分析し、手工業的な方法で行われていた米菓の製造を、工業化された現代企業経営に改革
- ・低タンパク質ごはん、コメ由来の乳酸菌をもとにしたヨーグルトや化粧品など、人々の健康に資する製品を開発

◇社会への貢献◇

- ・2009年、(公財)食の新潟国際賞財団を設立し、世界の食に関する課題に先進的に挑戦し、成果をあげている人物を表彰
- ・2016年、(公財)古泉財団を設立し、大学生への奨学金給付、学生、若手研究者への研究費助成を実施

❖本庄 八郎氏(株式会社伊藤園代表取締役会長)

◇会社概要◇

茶葉、飲料の製造販売、1964年創業、従業員数5,205人



◇優れた経営◇

- ・1966年、(株)伊藤園の前身であるフ

ロンティア製茶(株)を設立

- ・1985年に世界初の缶入り緑茶飲料「缶入り煎茶(現:お~いお茶)」を発売するなど、日本における無糖飲料市場を開拓
- ・2019年以降毎年、「お~いお茶」ブランドが緑茶飲料販売実績世界一としてギネス世界記録に認定

◇社会への貢献◇

- ・2018年から(公財)本庄国際奨学財団の理事長を務め、学生に対する奨学金の援助や、食に関する研究への助成を実施
- ・埼玉県内の自然環境を保全する「さいたま緑のトラスト基金」に対して、計11回、累計1,000万円超を寄付

❖室崎 富恵氏(社会福祉法人いわみ福祉会理事長)

◇会社概要◇

障害福祉事業、介護保険事業他、1973年創業、従業員数495人



◇優れた経営◇

- ・次女の障害をきっかけに障害福祉運動に取り組む中、1973年、障害のある子どもたちの親が中心となって(社福)いわみ福祉会を設立
- ・同法人設立当時の障害福祉制度は入所施設中心であった中、民間下宿、民間ホーム、生活自立訓練等の地域生活移行の取組を先行的に展開
- ・主に島根県西部の浜田市、江津市を中心に、障害福祉分野、高齢福祉分野で約40事業を展開

◇社会への貢献◇

- ・障害者、支援者、地域の方々と一緒に完成させた伝統芸能「石見神楽」の舞いを国内外で上演して高く評価されるなど、障害者の自立と社会参加に貢献
- ・障害者の働く場に地場産業である和紙を使用した神楽面作りを取り入れるなど、地域地場産業の発展・継承と障害者の雇用に貢献



講評を行う
利根 忠博 本会名誉会長
(渋沢栄一賞選考委員長)

》令和5年度第3回特別セミナー

脱炭素（2030/2050）を目指す経営革新と 会計セミナー

日時 1月19日(金) **場所** 大宮ソニックシティ
参加者 24名 **講師** 公認会計士 吉川 武文氏



講師の吉川 武文氏

1. なぜ脱炭素を目指すのか

脱炭素は地球環境保護や温暖化防止の観点もあるが、世界各国の状況を見ると日本にとっては資源不足や価格高騰に備える体制作りが喫緊の課題である。

2. 失敗の原因は会計だった

脱炭素を目指す企業活動は各部署がバラバラに行っていたため、行き詰まりを見せている。新しい管理会計の導入によりまずは自社の現状を把握し、それを踏まえたシュミレーション、対策を策定する。

3. 時代と戦うP/Lを作る

会計上の経費を変動費と固定費に分離し、事業毎の付加価値を把握する。付加価値を把握することにより、見直すべきものと積極的投資を行うものを見分ける。

4. イノベーションが必要

人材育成をコストと捉えずに、多様性（イノベーション）を許容することにより積極的な人材が育ち、人が辞めない会社作りが可能となる。

5. 価格高騰やCO₂と戦う

費用を固定費と変動費に分けることにより、見直すべき部分を明確化。付加価値の低い事業を見直す。

6. 脱炭素を支える設備投資

WACC（加重平均資本コスト）とIRR（内部収益率）を把握し、補助金も活用した設備投資を実施する。

7. 脱炭素経営の基本式

化石燃料使用量は付加価値÷生産性×燃料依存の式で算出される。事業規模、付加価値、生産性を上げないと燃料依存をゼロ（2050年目標）にはできない。

8. 2050・脱炭素を目指す

SDGsの真の目標は環境と経済の両立である。世界の資源は将来的に枯渇することが見込まれるため、脱炭素を目指すことは資源不足に備えるためのものである。現状や脱炭素の目標達成をピンチと考えるのではなく、自社の付加価値を見直してビジネスチャンスととらえていくことが肝要である。

》令和5年度第4回特別セミナー

潜在力を引き出し、経営力を再構築

～中小企業こそ、デジタルの力でイノベーションを～

日時 1月18日(木) **場所** オンライン配信（Zoomを使用したライブ配信）
参加者 28名 **講師** 東京大学大学院工学系研究科 教授 森川 博之氏



講演する森川 博之氏

現在、COVID-19後の影響に加えて、デジタル変革が経済や産業界に影響を与えている。そこで、今後重要となるのは、リアルな社会からデータを拾い出し、リアルな世界にフィードバックする一連のループである。ここで、IoT、5G、ビッグデータはツールであり、問題発見力すなわち「現場の気づき」が重要となる。

人口減少のわが国では、生産性を上げるためのツールとしてデジタルは有効であり、デジタル人材の活用が叫ばれている。確かにデジタル人材も重要であるが、前述の問題発見力をはじめとした、企画力、行動力を有するデジタル「社会」人材こそ、今後大切になってくると考える。データを起点に現場で気づくことのできるデジタル社会人材が育てば、業務改善に繋がる。

次に、DXを目指すために、どのような姿勢で新技術に向き合うべきかを説明する。新しいテクノロジーに対しては、まず土俵が上がって対峙し、考える、信じる、といった気持ちが大切である。今、5Gについて期待したほどでもないという意見もある。しかしテクノロジーは進化するということを前提に考えてほしい。

次に、DXを進めると、さまざまな部署や分野、モノや人がどんどんデータで連携するため、事業に関連がある人・

モノといった要素の数がどんどん拡大していく。テクノロジーを理解してもらうには、それに詳しい人が適任と思いがちだが、それと共感は違う。テクノロジーに詳しい人と、顧客に共感できる人たちを連携するには多様性が重要である。多様性に配慮した人材が増えれば、関係者を上手に巻き込んで連携できるので、価値の創出が進み、その結果全体のパイを増やしていける。この回転させてつなげて価値を創る、強い想いで「巻き込み」「繋いで」「パイを増やす」ことをゲームのテトリスになぞらえて「テトリス型経営」と呼んでいる。また、様々な人の意見を取り入れ、多様性が「気づき」に繋がることを「タスク型ダイバーシティ」と呼んでいる。

最後に、DXを企業の運営に取り込むには、組織の変革（CX：Corporate Transformation）が重要であり、DXとCXは両輪である。個々の企業によって課題は異なるため、DXに答えはない。したがって、個々の企業ごとに「現場の気づき」を大切に、新しいテクノロジーの土俵に乗って、多様な関係者をつないで価値を創造していくことが大切である。これらを前提に、組織をどう変革すべきか、考える必要がある。

セミナー開催結果

》令和5年度第5回特別セミナー

第3回アトツギ甲子園・東日本ブロック大会に出場して

「一步踏み出さなければ、何も始まらない。

踏み出したからこそ見える景色がある。だからチャレンジし続ける！」

日時 2月1日(木) **場所** 大宮ソニックシティ

参加者 6名 **講師** 株式会社ボイスクリエーションシュクル
経営戦略企画室 佐藤直氏

講師の佐藤直氏



中小企業庁が主催する「アトツギ甲子園」は、全国各地の中小企業・小規模事業者の後継者（39歳以下の後継予定者〔親族外承継予定者も含む〕）が、既存の経営資源を活かした新規事業のアイデアを競うピッチイベントとして、2021年から毎年開催されている。

アトツギとは、従来の後継ぎのイメージを変え、家業の経営資源に「自分らしさ」を加え、時代に合わせたイノベーションを起こし、家業の成長にコミットするベンチャー型の事業承継の考え方である。

<概要>

- 1 家業に入るまでの道のり
- 2 これからの日本は「アトツギ」が熱い！
 - ①「アトツギ甲子園」に挑戦した学びのシェア
 - ②アトツギ支援の最新動向
- 3 汎用性の高い「声磨き®」の可能性

<質疑・感想>

Q 地域版 SOIP の先進事例形成に採択されたが、KPI などの数値の目標の達成について、どのように考えているか。

A 検討中のところもあるが、声磨きが新しい事へチャレンジするための意欲を増進し、社会との接点のきっかけなることを実証していきたい。

Q とても効果的な内容なので、声磨きや声の力を全国に広めて、皆さんに伝えて行って欲しい。

A 声の力で企業や地域が元気になる、つながっていく社会を実現のために、これからも声磨きを伝えていきたい。



セミナー会場の様子

》令和5年度第8回特別セミナー

SNS マーケティング攻略で成功する企業を目指す！ SNS 活用課題一挙解決 セミナー

日時 2月16日(金) **場所** 大宮ソニックシティ 404

参加者 22名 **講師** 株式会社 BESW 代表取締役 田中千晶氏



講演する田中千晶氏

コロナ禍において、個人の SNS 利用時間は伸びており、企業のアカウントを目にすると感じる人が増えていることから、SNS 運用は「今がチャンス」と言える。その際、コミュニケーションツールという認識を持ち上手に運用する必要がある。そして、今や情報収集の方法は変化し、「ググる」よりも「タグる」(#)時代になっている。

SNS を活用した売上戦略を立てる上では、ペルソナの策定すなわちターゲット・競合分析が重要である。どのユーザーをターゲットにするか、エンゲージされやすい投稿を行うかを検討し策定する必要がある。また、投稿の際は、①実績：②お役立ち情報：③多面性：④告知 = 4 : 4 : 3 : 1 の比率とするとよい。

次に Instagram の特徴について解説する。Instagram において投稿の評価を高めフォロワー外にリーチを拡大するには、特に投稿に対する「保存」アクションを促すことが重要である。「いいね」数より「保存数」の方が表示との相関が高くなっていると

言える。

Instagram は、写真（画像）がメインコンテンツの SNS であり、統一感を出すために、ブランドと投稿する写真の世界観（トーン & マナー、略して「トンマナ」）を合わせることにポイントとなる。また、リール機能を使う際、初心者が押さえるべきポイントとしては、①スマートフォンは「縦向き」で撮影すること②テンプレートを活用し効率的にすること③ハッシュタグを忘れずにつけることが挙げられる。③のハッシュタグについては、オリジナルハッシュタグ5個、見つける用ハッシュタグ5個、コミュニティ用ハッシュタグ10個、拡散用ハッシュタグ10個をつけると良い。（他にも X（旧 Twitter）、LINE、Facebook の解説がありましたが、紙幅の関係上割愛いたします。）

最後に、SNS は、企業から積極的にユーザーとコミュニケーションを取るツールである。それを忘れずに自分たちが伝えたいことだけ伝えている「一方通行パターン」にならないよう注意する必要がある。

》令和5年度第7回特別セミナー

デジタル時代の組織と個人のアップデートセミナー

～健全なバリューサイクル・マネジメントを学ぶ～

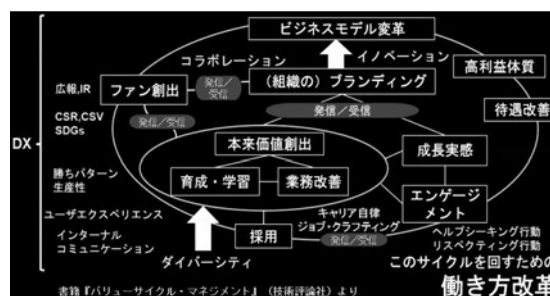
日時 2月15日(木) **場所** Zoom ウェビナーによるオンライン

参加者 16名 **共催** あまねキャリア株式会社 CEO 沢渡 あまね 氏



講演の沢渡 あまね 氏

自分の周りの「半径5メートル以内の景色を変える」と組織が変わる」を具体的な事例を交えて講演した。従来は、ルールありき、横並び主義の統制型（ピラミッド型）が主流であったが、「違いを認め合い／活かす」「ビジョン／ゴールありき」のオープン型（共創型）とのハイブリッドなマネジメントで組織変革やファン創出につながる。「ものづくり型」から「サービス型」へ。「過去に正解がある前提のモデル」から「過去には正解がない前提のモデル」へ。「Be Careful型（失敗を許さない）」から「Be Colorful（カラフル＝多様性の承認・共有）型」へ。多様性については、「属性」「専門性」「経験」「インプット」「ライフステージ」「はたらき方」の6つに触れ、自らの垣根を越境し共有しあうことで循環する、人生100年時代に適応する健全な組織のバリューサイクルを説明した。社内外



との越境・共創により「業務改善」、「育成・学習」、「本来価値の創出」の好循環が生まれる。DXを用いることにより、時短勤務等の時間的制約を越え周囲と情報共有が可能になり、自分の作業しか見ずに生じた全体としての重複作業やロスがなくなる。DXに苦手意識を持つ人もいるが、まず試してみることで意欲が生まれ、組織変革が生まれる。

》令和5年度第5回トップセミナー

『経営戦略』としての ホスピタリティ・マネジメントセミナー

日時 2月27日(火) **場所** 大宮ソニックシティ

参加者 7名 **共催** ビジネスコーチ(株) パートナーエグゼクティブコーチ 加地 照子 氏



講演する加地 照子 氏

1. VUCAの時代に必要な人材・リーダーとは？

真のリーダーとなるためには(論(考え方)+スキル)×実行が重要であり、その結果が成果となる。企業にとって社員や上司そのものが商品であり、それを評価するのは相手(顧客)である。

2. ホスピタリティに焦点を当てる

サービスとホスピタリティは似て非なるものであり、サービスを超越するもの(予想を超える感動、満足感、幸せ感)を与えることが未来に向けての経営戦略である。

- ①顧客から見る自社の商品を考え、自己の立ち位置を知る。またその評価レベルを認識する。
- ②ホスピタリティはサービスを内包しており、サービスは相手の想定内で、それに感動や創造を加えたものがホスピタリティである。またホスピタリティは組織力を向上させ、相手に「再び経験したい」「縁

を持ち続けたい」という感情を生み出し、その結果として双方が向上するという相乗効果が生まれる。企業が持続的に進化するためには独創性、心地よい付加価値、相手が縁を持ち続けたいという感情を抱かせる戦略が必要。そのためには思考の枠を外し、自己の付加価値を高める必要がある。

- ③自己を理解して成長に向かうためにはシビリティ(礼儀正しさ)こそ最強の戦略であり、第一印象を向上させるために、十分な業務知識に裏付けされた自然な笑顔は最大の効果を発揮し、顧客総合満足のための必要十分条件である。

3. サーバントリーダーの誕生モデルを目指そう

Hospitality, Leadership, CoachingのHLCユニットは循環しており、そのことによって行動が変わり、相乗効果を生み、企業が持続的に発展進化していける。

企業戦略研究会

》令和5年度企業戦略研究会

那珂核融合研究所 視察会

日時 2月26日(月) 場所 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 (OJT) 那珂研究所
参加者 15名

那珂研究所にて集合写真



<はじめに>

今回の視察会では、昨今、メディア等で取り上げられる機会が増えている「核融合発電」について、知見を広げるため、茨城県那珂市にある那珂研究所において視察会を開催した。

<概要説明>

視察会のはじめに、那珂研究所所長の花田磨砂也氏より概要説明があった。令和5年4月に国家戦略として「フュージョンエネルギー・イノベーション戦略」が定められたこと、核融



概要説明を行う
花田所長

合エネルギーを用いた発電システム（ドーナツ型をした金属製容器の中に燃料（重水素と三重水素）を入れて、加熱装置で温めてプラズマ状態にすることで核融合反応を発生させる。核融合反応で生じたエネルギーの80%は中性子の運動エネルギーになるので、プラズマを取り囲むように設置されているブランケットで中性子を受け止めて、運動エネルギーを熱に変換する。ブランケットに張り巡らせている一次冷却水でこの熱を回収し、二次冷却水を蒸気にしてタービンを回して発電する。）、核融合エネルギーの特長（燃料が海水中に豊富に含まれている、燃料1gから石油8トンを燃焼した時に相当するエネルギーが得られる、高レベル放射性廃棄物を出さない、燃料や電源の供給が無くなると反応が止まるため安全、反応によって生じるものはヘリウムガスと中性子であり二酸化炭素を発生しない）等について説明があった。特に、ITER計画（核融合実験炉ITERを世界30カ国以上の国が協力して建設する巨大な事業）では、物納貢献方式がとられているところ、日本が分担する高さ16.5m、幅9mという世界最大の超電導コイルであるトロイダル磁場コイルについては、1ミリの精度で製造が要求されること、日本は開発も研究も先端的なところを牽引してきており特許には表れないノウハウ（体系的知財）があること、そのため世界的に発言力があり、エネルギーをただ作るだけではなくエネルギーを作るための産業を興したいとお話に興味深かった。

<制御棟ロビー、中央制御室、機器収納棟>

制御棟ロビー、中央制御室、機器収納棟では、先進

プラズマ研究部先進プラズマ計画調整グループグループリーダーの小島有志氏より、説明があった。中央制御室では、実際の実験の際のライブ映像で各種装置の状況やプラズマが光る様子を見ることができた。また、機器収納棟では、JT-60SAの前身であるJT-60Uの磁場コイル等が保管されており、その大きさに驚かされた。さらに、JT-60U



中央制御室

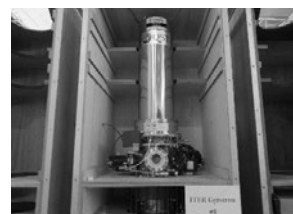


解体後搬出された
磁場コイル

の解体は放射化した核融合施設の解体として国内初の試みであるとともに、将来の放射化物のクリアランス適用を考慮して行う核融合装置の解体として世界的に類がないものとのことで、汚染水を出さない乾式ダイヤモンドワイヤーソーを使った解体工法の説明もあった。

<高周波加熱試験装置>

ITERプロジェクト部RF加熱開発グループ上席研究員の池田亮介氏からは、高周波加熱試験装置の説明があった。核融合反応にはプラズマの温



ジャイロトロン

度を1.5億度に引き上げる必要があり、その加熱装置がジャイロトロンであり、電子レンジにみられる仕組みで、一般的な電子レンジと比較すると出力は約2千倍、周波数は約70倍と桁違いの加熱パワーがあるとのこと。また、ジャイロトロンに用いられているダイヤモンド窓（熱伝導率が極めて高い）で氷切り体験も行った。（他にも先進計測開発棟にてITERプロジェクト部計測開発グループ上席研究員谷塚英一氏より、解説があった。）

<おわりに>

視察会をとおして活発な質疑応答がなされ、参加者の関心の高さがうかがえた。今後更に盛り上がるであろう「フュージョンエネルギー」を知るよいきっかけとなり、非常に有意義な視察会となった。

》教育関連事業

キャリアデザイン・セミナー

～企業経営者と生徒・保護者・教員による四者面談会～

日時 1月27日(土) **場所** 新都心ビジネス交流プラザ
参加者 36組・108名 **主催** 埼玉県教育委員会 **講師** 下記5名



面談の様子

四者面談会は平成15年度より実施され、今年度で通算20回となった。企業経営者から働くことの意義や心構えなどに関するアドバイスを受けることで、生徒に進路を選択する能力の向上や望ましい勤労観・職業観の育成を図るとともに、生徒・保護者・教員の進路選択に対する意識を啓発することを目的としている。最初は緊張した面持ちの参加者も、講師の皆様の温かい対応により、徐々に和やかな雰囲気となり、参加者は質問をしたり、メモを取ったりしながらアドバイスに耳を傾けていた。

面談終了後の生徒アンケートでは「意見を言いやすくなった」という間の時間でもとてもいい体験だった」「自分には今まで無かった視点が増えて今後より良い人生設計を考える機会

となり、とても参考になりました。」などの感想が見られた。保護者からは「会社が社員を受け入れる時に多くのことを考えているお話を聞いたのがよかったです。」などの感想が寄せられた。

先生方からは「初めての参加でしたが、貴重な経験になりました。一般企業の就職活動を経験していないと、気付けないことが沢山ありました。」や「企業経営者の会社運営に対する話や日常の過ごし方、進学することへの考え方等、あらゆる話の中に信念・理念・強い意志を感じました。生徒にとってはもちろん、私自身にとっても本当に勉強になりました。」などの感想が寄せられた。

参加企業 経営者 (敬称略)



中込 秀明
富士電子株式会社
代表取締役会長



松本 伸一郎
株式会社松本商会
代表取締役社長



根岸 節子
社会福祉法人隼人会まきば園
理事長



伊藤 麻美
日本電鍍工業株式会社
代表取締役



廣澤 健一
一般社団法人埼玉県経営者協会
専務理事

》第2回SDGs委員会

一人ひとりの能力と可能性を尊重した 成長できる職場視察会

日時 2月7日(水) **共催** 埼玉県教育委員会
参加者 19名 **講師** 三菱マテリアル株式会社 プロフェッショナルCoE 人事部
場所 三菱マテリアル株式会社
さいたまオフィス 衛生管理・障がい者サポート室長 鈴木 正哉氏
衛生管理・障がい者サポート室長補佐 齊藤 聡氏



鈴木 正哉氏



齊藤 聡氏

障がい者雇用を積極的に推進している職場の視察を通して、障がい者雇用における課題の解決につなげていくことを目的に、企業視察会を三菱マテリアル株式会社さいたまオフィスにて開催した。同オフィスは「埼玉県障害者雇用優良事業所」として認証を受けており、同社全社の障がい者雇用率は2.51%となっている(1月1日現在)。

三菱マテリアル株式会社は『人と社会と地球のために』を企業理念に掲げ、循環をデザインし、持続可能な社会の実現を目指している。「いかにしてメンバーの持つ力を最大限発揮できるようにするか」を重要なテーマとして捉え、D&I(多様性とその受容)を推進している。障がいを持つ従業員の活躍支援についても、「モデル職場」を設置し専任の指導員を配置。一人ひとりの個性と可能性を尊重したうえで、作業方法の工夫や改善を図り、やりがいや働きがいを感じてもらうことにより、各人の更なる成長を促している。更に、地域の特別支援学校からの実習生の受け入れや企業見学会の開催等を積極的に行ない、これらを通じて、「企業で働くとは」の意識付けを行う等、特別支援学校に通う生徒さんの就労を支援している。

企業概要説明では、企業概要、モデル職場の業務内容概要、段階的に引き上げられる障がい者雇用率への採用計画と職域拡大等の方策について、丁寧に説明いただいた。

作業現場視察では、社員食堂での清掃作業と社員用の宿泊施設のベッドメイキングを見学させていただいた。障がいを持つ従業員の方や指導員の方から話を伺うことができ、モチベーション高く、生き生きと働いている様子を感じ取れた。

質疑応答では、仕事の切り出し方や長く働いてもらえるための方策などについて質問があり、理解を深めることができた。参加者からは、仕事に誇りを持っているのを感じることができたなどのご感想をいただき、有意義な視察会となった。



概要説明



作業現場見学

教育関連事業

》第1回 SDGs 委員会

発達障害者雇用に向けた企業支援セミナー

日時 12月22日(金) **参加者** 65名 **場所** 大宮ソニックシティ

共催 埼玉県経営者協会、埼玉労働局、埼玉県
埼玉県発達障害者支援センター「まほろば」

説明 「障害者法定雇用率と雇用助成金制度（行政説明）」
埼玉労働局職業安定部職業対策課 課長補佐 小茂田 靖氏

講演 「発達障害者の特性と理解」
埼玉県発達障害者支援センター「まほろば」 副センター長 吉田 慶子氏

発表 「発達障害者就労支援取組と発達障害者を雇用する企業からのメッセージ」
① NX トランスポートサービス(株)の取組 NX トランスポートサービス(株)、ウエルビー川崎センター
② 障害者就業・生活支援センターかわごえ、Be happiness とおり町の取組
人間ガス(株)、障害者就業・生活支援センターかわごえ、INSPIRE (株)、Be happiness とおり町



今回で12回目となるセミナーで、発達障害のある方の支援に関わる人に対して、発達障害のある人を支援する上

で知っておきたい基本的知識の説明と、雇用を行う企業や就業者からの生の声を報告した。

》第4回 SDGs 委員会

障害者雇用促進セミナー

日時 2月13日(火) **参加者** 59名 **場所** オンライン

講演 神奈川県立保健福祉大学・東京通信大学 名誉教授 松為 信雄氏

事例発表 埼玉県信用金庫 人事部 シニアパートナー 中村 猛氏

事業説明 埼玉県障害者雇用総合サポートセンター 企業支援業務部門 部門長 吉原 市郎氏

障害のある人の就労意欲の高まりや、積極的に障害者雇用に取り組む企業の増加など、障害者雇用が着実に進展する中、雇用の質の向上や多様な就労ニーズに対する支援を図る観点から、令和4年12月に「障害者雇用促進法」等が一部改正された。また、令和6年4月からは障害者雇用率の段階的な引上げに加えて、令和7年4月には除外率が引き下げられる。

そのような背景を鑑み、神奈川県立保健福祉大学・東京通信大学 名誉教授 松為信雄氏より、「2030年の障害者雇用に向けて」と題してご講演をいただいた。事例発表では、埼玉県信用金庫の中村猛氏より、雇用に際して起きた問題と対処方法、どのような結果に繋がったかという貴重な事例をご発表いただいた。事業説明では、吉原市郎氏より、埼玉県障害者雇用総合サポートセンターの活用について、詳細をご説明いただいた。



●講演
松為 信雄氏
「2030年の障害者雇用に向けて」



●事例発表
中村 猛氏
「障害者雇用の取組
～定着と雇用の継続について～」



●事業説明
吉原 市郎氏
「障害者を雇用するに当たって」

》第3回 SDGs 委員会

特別支援教育の現場視察と意見交換会

日時 2月22日(木) **参加者** 11名 **場所** 県立大宮北特別支援学校さいたま西分校

共催 埼玉県教育委員会

県立大宮北特別支援学校 校長 木村 真氏



県立大宮北特別支援学校さいたま西分校は、2009年4月に開校した、知的障害があり、公共交通機関を使用して一人で通うことができる生徒が在籍する特別支援学校である。県立大宮武蔵野高等学校内に併設されており、ひと学年16名、全校生徒48名が将来の就労を目指して、日々学習活動に取り組んでいる。職業の授業や情報教育、資格取得を通じて、仕事の技術を学ぶとともに、社会人としての態度、マナー、姿勢を学んでいる。

施設見学では、学部職業の授業（食品・農園芸・木工・手工業）を見学し、それぞれの授業で生徒自身が職業の概要と自分の進路について、説明を行った。

学校概要説明と進路指導の説明の後、公共交通機関が使えない立地の企業の対応や短時間勤務等の雇用形態、雇用後の支援体制について、意見が交わされた。参加者からは、生徒の意見を直接聞くことが出来て非常に勉強になったなどのご感想を多くいただき、有意義な視察会となった。

》令和5年度 青年経営者部会 12月例会

メーカーとしてのSDGs活動推進事例

日時 12月8日(金) **場所** 大宮ソニックシティ 404

参加者 17名 **講師** 雪ヶ谷化学工業 株式会社 代表取締役社長
坂本昇氏

講演する坂本昇氏



今例会は、講演会・10月12日(木)と13日(金)に埼玉主催で開催した全国大会報告会、懇親会を開催した。

【講演会】

第1部の講演会では、雪ヶ谷化学工業株式会社代表取締役社長の坂本昇様に「メーカーとしてのSDGs活動推進事例」と題してサステナビリティへの取り組みに関する講演をいただいた。坂本様は、化粧品用スポンジ世界トップシェアを誇るスポンジメーカーの3代目として2013年に代表取締役に就任され、新たな製品開発を通して「社会課題解決型製品によるルールメイキングと市場形成」を中心にサステナビリティの取り組み、脱炭素社会に向けた活動を強化。SDGsを自社のビジネスモデルと同期させて企業価値や顧客への商品訴求力の向上に繋がられ、経済性と社会性の両立を目指す先進企業として注目されている。昨年末には民間企業初の「第7回ジャパンSDGsアワードSDGs推進副本部長（内閣官房長官）賞」を受賞されている。

講演では、取り組み推進のプロセスや実際の製品開発などについて詳しくお話いただいた。

講演のまとめには「石油由来原料の使用料を減らすために使う代替材料の採流通過程が持続的かを意識することは重要。従来の化粧スポンジをサステナブル

使用に一新して提案を続けているが、サステナブル経営はきちんと収益に繋がるスタンスでやるのが大切。若い世代ほど敏感な「エシカル消費」に消費者の方がより敏感になるほど、弊社顧客の消費材メーカーもエシカル製品を市場に提供するはず。世の中を巻き込みながらサステナブル社会の実現を推進していきたい」と語られた。講演後は活発に質問がなされ、採用や社員のエンゲージメント等に関してご回答いただいた。サステナビリティの進め方について、多くの参考となる点や刺激をいただくことができた。

【全国大会報告会】

第2部の全国大会報告会は、望月大会実行委員長から大会結果と当日の写真を交え大会の様子をご報告いただいた。

また、この度ご入会いただいた、籠島輝氏(株)アイルホールディングス取締役)よりご挨拶をいただいた。



会場の様子



挨拶する籠島輝氏

》青年経営者部会 千葉・茨城との3県合同例会

高円宮記念 JFA 夢フィールド 視察会（主催：千葉県経営者協会）

日時 2月9日(金)

場所 高円宮記念 JFA 夢フィールド

参加者 全体27名(埼玉5名)



参加者集合写真

千葉・茨城・埼玉の3県合同例会を千葉主催で開催し、全体では27名、埼玉からは5名が参加した。

視察先は、2020年にオープンしたサッカー日本代表の合宿施設である「高円宮記念 JFA フィールド」。JFAが提唱する「選手育成・代表強化・指導者養成の三位一体+普及」の核となる拠点で、男女各カテゴリーの代表スタッフ、指導者や審判員のインストラクター、また、メディカルやフィジカル、テクニ

カルの専門スタッフが日々活動を共にする中で課題を共有し、それを解決していくトレーニングの場として、日本サッカーの機能の全てを集中させ、サッカー強化のノウハウや知見を集積、情報発信し日本サッカーの強化に貢献している。懇親会も併設され、千葉・茨城の近県の若手経営者の方と今回は高知青年部会の方もお迎えし、地域を越えた若手経営者同士の貴重な交流の機会となった。

シリーズ
第141回

今回の内容について、ご関心・興味をお持ちの方は、下記にご連絡下さい。
埼玉県経営者協会 専務理事 廣澤 健一 ☎ 048-647-4100 ✉ info@saitamakeikyو.or.jp



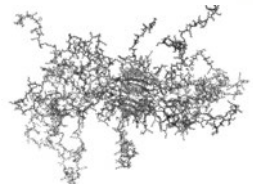
AI とシミュレーションを組み合わせて加速する構造生物学

大学院理工学研究科 数理電子情報部門 情報領域 松永 康佑 准教授

近年の人工知能 (AI) 技術の発展は凄まじいものがあり、私の専門である構造生物学も席卷しています。構造生物学とは、生命現象を担っている核酸 (DNA や RNA) やタンパク質の分子構造から理解しようとする学問です。確かに分子構造を調べると生命現象が説明できることが多く、病気の原因を特定したり創薬に有用な知見を得ることができます。最近では、新型コロナウイルスが持つスパイクタンパク質の構造から変異株の特性が議論されています。分子構造は X 線結晶構造解析などの実験手法で観測することができますが、これらの実験手法は一般に手軽に使えるものではありません。そこで、分子構造をコンピュータで予測する手法が研究されてきましたが、2021 年に DeepMind 社が開発した AlphaFold2 という AI は、驚異的な精度でタンパク質の構造を予測可能にしたことで話題になりました。AlphaFold2 によりコンピュータが苦手な実験研究者でも、Web ブラウザ上で手軽に高精度で構造予測できるようになりました。

AlphaFold2 の登場から 2 ~ 3 年を経て、多くの研究者が AlphaFold2 を使い倒すことで構造生物学のレベルが急成長してい

ます。それはちょうど将棋 AI を棋士達が研究して、将棋界のレベルが高まったのと同じ道を辿っていると考えられます。AlphaFold2 を使った応用だけでなく、AlphaFold2 が「何を捉えて予測しているのか?」「どういう場合に間違えるのか?」が段々とわかってきて、予測の限界について理解が深まりました。AI がまだ苦手としているのは、(真核生物の 3 割以上を占めている) 天然変性タンパク質と呼ばれるタンパク質や、核酸と結合しているタンパク質等です。これらは一般に単一の安定構造をとらずふらふらして、構造だけでなくその「動き」が重要であると考えられています。これらの分子を調べるには AI だけでなく、物理法則に基づいたシミュレーションが有効であることがわかっています。現在我々はこれらの分子をターゲットとして、文科省の「富岳」成果創出プログラムへ参加して、AI とシミュレーションをスパコンで大規模に組み合わせることで未知の分子構造・動きを観測しようとしています。



天然変性タンパク質のシミュレーションの様子

》産業への展開 高分子モデリング、抗体モデリング、結合自由エネルギー計算

学歴・略歴 松永 康佑 (まつなが やすひろ) 2007 年神戸大学大学院自然科学研究科博士後期課程修了。博士 (理学)。2004 年日本学術振興会特別研究員 (DC2)、2011 年理化学研究所基礎科学特別研究員、2016 年 JST さきがけ研究員 (兼務) などを経て、2019 年より現職。専門は計算生物物理。



「液体運動の可視化」をベースとした技術開発を目指して

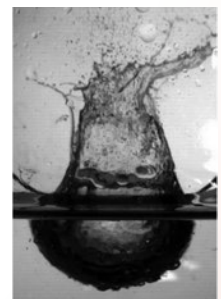
大学院理工学研究科 人間支援・生産科学部門 生産科学領域 木山 景仁 助教

私たちの生活において、水は欠かすことのできない要素です。私の研究分野は、混相流工学という、大雑把には、その水の流れを理解し、活用する学問分野です。液体や気体という複数種類の相 (たとえば、水と空気) が混ざり、流れる様子を扱っています。とくに、沸騰や蒸発という液体から気体へと相が変化する現象のうち、ごく短時間で生じるような流れに興味を持っています。このような現象を実験的に調べるうえで欠かせないもう一つのキーワードは、流れの「可視化」です。短い時間の変化を視覚的に捉えるハイスピードカメラや、電気信号として情報を取り出す各種のセンサーを活用し、液体や気体の運動を理解しようと取り組んでいます。

現在の研究テーマのうち、中心的なものにキャピテーションという現象があります。これは、液体の圧力が急激に低下し、液体が局所的に蒸気へと変化することで泡となる現象です。泡が発生してから崩壊するまでの時間が非常に短く、瞬間的に大きなエネルギーを放出することで、流体機械が壊れる原因になっています。私たちは、このような泡の動きをコントロールする技術の開発を目指しています。

似たような現象は液体が急激に温められる身近な場合にも生じます。揚げ物料理の過程で高温の油に水が混入し、大きな音とともに油が跳ねた、という経験のある方も多いのではないのでしょうか。これは、油の中で水滴がすばやく温められ、沸点を越えることで瞬間的に泡となり、その運動によって引き起こされたと考えられます。油跳ねはやけどだけでなく、調理空間の空気環境にも有害です。私たちは、その泡の運動と、鍋からの油跳ね、そしてそれに伴う音との関係性を調べています。将来的には、音をベースとした空気環境モニタリングなどに役立てられないかと期待しています。

埼玉大学には今年度着任したばかりで、これらの研究はまだ始まったばかりです。地域の皆様のご理解・ご協力のもと、私たちの生活の質の向上に貢献することを目指して取り組んでいます。



油はね_Kiyama et al Phys Fluids 2022

》産業への展開 流体力学、なかでも本稿でご紹介した泡や、液体表面に衝撃が加わった際の液体表面の変形・液体の飛散など、ごく短い時間で発生する流体運動に広く取り組んでいます。これらは、流体機械に限定されず、幅広く産業に展開できる基礎的な知見であると考えています。

学歴・略歴 木山 景仁 (きやま あきひと) 2019 年 3 月東京農工大学大学院修了。博士 (工学)。東京農工大学特任助教、ユタ州立大学 JSPS 研究員、コーネル大学研究員を経て、23 年 4 月より現職。専門は、短時間における液体表面運動の実験解析とその応用研究。

連載
第122回

今回の内容について、ご関心・興味をお持ちの方は、下記にご連絡下さい。
埼玉県経営者協会 専務理事 廣澤 健一 ☎ 048-647-4100 ✉ info@saitamakeikyo.or.jp



AI との自然な音声対話の実現に向けて

情報メカトロニクス学科 石本 祐一 准教授

2022 年末頃から ChatGPT に代表されるテキスト対話 AI の一般公開が始まり、AI とのテキスト対話が人間同士の対話と遜色なく行えることが広く知られるようになりました。音声認識や音声合成の性能も向上がみられ、テキスト対話機能と組み合わせて AI と日常的に音声対話する未来が訪れることが予想されます。しかし、すぐにも実現できる段階とはまだ言えません。なぜなら、人間同士ではその場の状況に応じて話し手が音声の韻律を変え、聞き手がその微細な違いを読みとることで円滑なコミュニケーションを実現しているためです。

国立国語研究所『日本語日常会話コーパス』に収録されている音声の声の高さを調べたところ、日常生活では子どもや配偶者には低い声で、友人には高い声で話していることがわかりました。つまり、話す相手や状況によって声の高さを無意識に変えることで言外のメッセージを付け加えているのです。他にも、合成音声による対話システムについての研究で、機械的な音声とより人間に近い音声のそれぞれに対して人間が応答するまでの時間を調べると、人間に近い音声の方が短い時間で応答した、という実験結果の報告があります。これは、相手が機械であると認識したこと

で機械に伝わりやすくするように応答するタイミングを調整していると考えられます。

相手に応じて音声を調整するような機能はまだ AI で実現できておらず、相手が人間であるか AI であるかを区別せずに会話が行えるようになるのはもう少し先になるのではないかと思います。AI・ロボットと人間が自然にコミュニケーションをとる時代を迎えるためには、人間自身が普段どのように行動しているのかを調べる必要があるのです。



コミュニケーションロボットとの対話

石本 祐一(いしもと ゆういち)准教授・博士(情報科学)、北陸先端科学技術大学院大学博士後期課程修了、東京工科大学、国立情報学研究所、国立国語研究所等を経て2022年4月よりものづくり大学。専門は 音声情報処理、音声コミュニケーション。日本音響学会、電子情報通信学会所属。(連絡先:048-564-3842/y_ishimoto@iot.ac.jp)



「文化財を活かした街づくり」で埼玉を元気に

建設学科 横山 晋一 教授

当研究室では歴史的建造物の学術調査研究に加え、所有者からのご依頼で老朽化する建物の修復についても、設計監理や技術指導等の形態でこれに寄与しています。また現在、研究室には大学院生と学部4年・3年生の総勢21名が所属していますが、建物の実践的な調査研究に学生たちも携わり、責任を持ってこれに臨んでいます。

今回ご紹介する長光寺阿弥陀堂宮殿(行田市須加)は境外仏堂として長らく利根川に近接した位置にありましたが、国策による堤防強化対策工事が決まり、阿弥陀堂と共に境内に移築されることになりました。これに伴い、劣化破損の著しかった宮殿も全解体修理と全面塗装が行われることになりましたが、凡そ10ヵ月に及ぶ修理工事監理と技術指導を研究室で担うことになったのです。

宮殿(厨子)の建立年代は不明でしたが、ここに祀る阿弥陀如来三尊に眼病を患う桂昌院が祈願したところ、病が治癒したとの記録が残されています。一方、調査によって棧唐戸や屋根に「三つ葉葵紋」の鍔金具が備わっていることが判りました。それは円形銅板に陰刻装飾が施され、表面を黒漆塗装と鍍金仕上げをしたものでした。そもそも三つ葉葵紋は徳川将軍家の御印ですが、形状は初期(初代家康~三代家光)、中期(四代家綱~六代家宣)、そして後期(七代

家綱~十五代慶喜)に大別され、時代劇等で良く目にするのは大方後期のものが多いようです。

葉芯の数が一葉当り凡そ21枚であることや、葉柄も太く曲がりがある特徴から、中期となる五代綱吉の御印であることが判明しました。すなわち、母親桂昌院の病が治癒したことに対して子の綱吉が神仏に感謝するため、この宮殿を新たに制作し、贈呈したことが推測されます。

綱吉の将軍在職期間は延宝8年~宝永6年(1680~1709)であり、桂昌院の祈願は元禄13年(1700)以降となる史実から鑑みても、宮殿制作は概ね宝永年間頃であったと考えられ、江戸時代中期の作品だと言えます。是非とも市指定文化財となるこの宮殿を見学頂ければと思いますが、限定公開になっていることから、詳細は長光寺に直接お尋ね下さい。(電話:048-557-0999)



修復後
宮殿正面外観



修復後
宮殿棧唐戸
三つ葉葵紋

横山 晋一(よこやま しんいち)教授 横浜国立大学大学院博士課程後期修了。博士(工学)。(財)文化財建造物保存技術協会、(学)立教学院立教大学を経て現職。日本建築学会、日本建築家協会、文化財保存修復学会などに所属。(連絡先:048-564-3861/yokoyama@iot.ac.jp)

埼玉県からの お知らせ



コバトン

食のサーキュラーエコノミー(CE) に取り組む皆様を支援しています

埼玉県産業技術総合センター北部研究所は「食の再資源化トライアル拠点」として、食のCEに取り組む皆様を技術面から支援しています。

支援内容は①技術相談対応、②専門家の派遣、③今年度、新たに導入したマルチミルや食品用乾燥機等といった装置による試作支援、④味覚センサー等を活用した試作品の評価、⑤産業振興公社内の「サーキュラーエコノミー推進センター埼玉」と連携した事業化支援などです。

支援の成果も出てきました。例えば、これまで廃棄されてきた規格外の「さつま芋」と「米麴」を活用して「芋みつ」を商品化、2月10日から販売開始されました。

ぜひ、皆様もお気軽に当所まで御相談いただき、食のCEにトライしてみませんか。

詳細 はこちらから→



お問い合わせ先

県産業技術総合センター北部研究所
(048-521-0614)

埼玉県中小企業制度融資の ご案内

県では、中小企業者の皆様に事業に必要な資金を円滑に調達していただくための融資制度を設けています。

働きやすい職場環境づくりや持続可能な社会に向けた取組などを進めている中小企業者に対し、県では「産業創造資金(社会貢献企業等優遇貸付)」をご用意しております。

本資金は「埼玉県SDGsパートナー」、「パートナーシップ構築宣言」に登録した方や、「多様な働き方実践企業」、「シニア活躍推進宣言企業」の認定を受けている方、法定雇用障害者数を超えて障害者を雇用し、過去1年以内に新たに障害者を雇用したことについて県の認定を受けた方、「事業継続計画(BCP)」等を策定し、

認定等を受けている方、企業価値の向上に計画的に取り組む方を対象に、通常よりも有利な条件での融資を可能としております。

本資金の要件、利率等の詳細及び他の資金メニューについては、県ホームページに掲載しております。

「産業創造資金(社会貢献企業等優遇貸付)」の受付は商工会議所又は商工会です。

※融資に当たっては金融機関及び信用保証協会の審査があります。

詳細 はこちらから→



お問い合わせ先

事業所が所在する地区の商工会議所・商工会又は県金融課
(048-830-3801)

令和6年度前期技能検定試験 実施のお知らせ

技能検定は様々な職種で働く人の技能を評価する国家検定制度で、企業や学校で長年にわたり技能の向上に活用されています。

県では、建築大工や機械検査など約40職種の検定を実施しますので、是非とも御活用ください。

○試験日程

令和6年6月～令和6年9月
(検定職種により異なります。)

○受検案内・受検申請書配布場所

県職業能力開発協会(さいたま市浦和区北浦和5-6-5 埼玉県浦和合同庁舎5階) 他

○受検申請方法

令和6年4月3日(水)～16日(火)に受検申請書を同協会へ提出

○受検手数料(各等級・職種共通)

学科試験のみ： 3,100円
実技試験のみ： 18,200円
実技と学科の両方：21,300円

※本年4月1日現在23歳未満の方は、3級実技試験の受検手数料を9,000円又は4,500円減額

○お問い合わせ先

・受検申請・実施職種について
県職業能力開発協会
(048-829-2802)

<http://www.saitama-vada.or.jp/>

・技能検定制度全般について
県産業人材育成課

(048-830-4602)

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0811/kentei/index.html>

多様な働き方実践企業に なりませんか？

就職活動をする学生の多くが、企業選択の際「自分の生活に合った働き方が実現できるか」を重視しているとの調査結果もあり、多様な働き方の実現が人材確保の重要なポイントとなりつつあります。

埼玉県では、テレワークや短時間勤務など、多様な働き方ができる職場環境づくりに取り組んでいる企業を「多様な働き方実践企業」として認定しています。

実践企業として認定されると、シンボルマークや限定グッズを使用し、採用活動等で実践企業であることをPRできるだけでなく、県の制度融資で優遇を受けられたり、県内金融機関に御協力いただき、認定企業の従業員の方が、お得なローン商品などをご利用いただけるなど、さまざまなメリットがあります。

申請手続きやグッズには費用はかかりません。この機会に、貴社の働き方を一度見直してみませんか。働き方改革への初めの一步は、下記ホームページに掲載している「認定チェックリスト」をチェックするだけ。

○多様な働き方実践企業認定制度

概要 <https://www.pref.saitama.lg.jp/workstyle/diversity/about.html>
(「埼玉 多様」で検索できます)

○お問い合わせ先

県多様な働き方推進課
(048-830-3963)



武蔵野銀行アプリ

リニューアルしてさらに便利になりました！

ダウンロードはこちら

**グルメ・レジャー等
お得なクーポン
配信中！**







武蔵野銀行

経営者の皆さまの“こまりごと”の解決を 私たちが全力でサポートします！

- ✔ ビジネス創出の機会をご提供します。
- ✔ 経営のフォローアップに努めます。
- ✔ お客様のニーズを共に考えます。
- ✔ 各種ソリューションをご提供します。



りそにゃ



RESONA ビジネスプラザ さいたま




人材確保・再就職支援・企業間の出向のことなら


産業雇用安定センター 埼玉事務所にお気軽にご相談ください！


※費用は一切かかりません

経済・産業団体、ハローワーク等と連携し、全国ネットを通じて、
人材の確保、従業員の再就職支援などに努めています。



公益財団法人 産業雇用安定センター 埼玉事務所

産業雇用安定センター  検索



〒330-0845 埼玉県さいたま市大宮区仲町3-13-1 TEL 048-642-1121 FAX 048-646-4915
住友生命大宮第2ビル2F

皆様の職場を支える新たなパワーとして シルバー人材センターを活用してみませんか！

3つのメリット


- ① 知識や経験**
豊富な知識や経験、技能を持つ会員が、多様な仕事に対応します。
- ② 身近で便利**
県内59箇所に設置。全県をカバーしています。早朝や夕方、土日、短時間の仕事などにも対応します。
- ③ 安心で丁寧**
公益的、公共的な団体なので安心です。丁寧、実直に仕事に取り組みます。


求人・人手不足にお悩みの事業主様へ


主な業務内容

事務分野	技能を活かす分野
<ul style="list-style-type: none"> ● 一般事務 ● 経理事務 ● 毛筆筆耕、宛名書き 	<ul style="list-style-type: none"> ● 植木剪定 ● 和洋裁
屋内外の一般作業	サービス分野
<ul style="list-style-type: none"> ● 清掃 ● 梱包、包装、検品、仕分け ● 除草 	<ul style="list-style-type: none"> ● 保育、介護補助 ● 品出し、接客 ● 営業

● シルバー人材センターとは
「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」に基づき設立された公益法人です。地方公共団体をはじめ、企業や家庭などから高齢者にふさわしい仕事を引き受け、シルバー人材センターの会員に提供しています。



埼玉県シルバー連合  検索



公益財団法人 いきいき埼玉 〒362-0812 伊奈町内宿6-26
(埼玉県シルバー人材センター連合) 埼玉県県民活動総合センター内

お問い合わせはお近くの
シルバー人材センターへ

TEL 048-728-7841 FAX 048-728-2130



ワンポイント労働法

有期雇用者への 本年4月1日からの無期転換の明示

弁護士 安西 愈

(1) 有期労働者への労働条件明示義務

4月1日から施行の労基法施行規則の改正で、有期契約労働者について、契約更新時に、無期転換についての権利が生ずる場合には、次の2つについて労働条件通知書による明示(労基法第15条)義務が加わった。

- ①無期転換申込み機会の明示
- ②無期転換後の労働条件の明示

(2) 無期転換の権利発生(申込み機会)の明示

労働契約法では、同一の利用者との間で締結された有期の雇用契約が通算して5年を超える労働者が、現に締結している有期労働契約期間が満了するまでの間に、当該満了日の翌日から雇用期間の定めのない労働契約を締結(無期契約)する旨の申込みをしたときは、使用者は当該申込みを承諾したものとみなす(使用者はこれを拒否できず、いわば雇用契約の強制的締結)となる制度(法第18条第1項)が定められておりこれを「無期転換ルール」という。

そして、この要件を充足した労働者に対しては、この契約の期間中に申込みの権利が発生するときは該当者に対し無期雇用への転換の申込みができる旨の明示をしなければならない。しかし労働者としては、その契約期間中に申し込むこともできるが、次の更新をすれば次の期間中でも転換できるので、継続した明示を要する。

(3) 無期転換後の労働条件の明示

次に、更新時、無期転換時の両方とも労働契約の締結に

あたるので使用者は労基法第15条に定める「労働条件を明示」すべき義務が生じる。

労働契約法では、無期転換した場合について「当該申込みに係る期間の定めのない労働契約の内容である労働条件は、現に締結している有期労働契約の内容である労働条件(契約期間を除く。)と同一の労働条件」となり、「別段の定めがある部分」は別となる。(法第18条1項後半)と規定されているので、別の労働条件の定めをしない限り、有期労働契約更新のときに示された労働条件と同じとなる。(この時は同じ旨の明示。)なお、厚労省では、無期転換後の労働条件について無期転換によって業務内容や責任等が変わる場合には、社内の他の労働者の業務内容や責任等を考慮し、他の労働者との待遇の均衡が図られた労働条件にすることを検討するように指導している。そして、異なる労働条件を示したときはその明示が必要となる。

(4) 無期転換に関する事項の明示のタイミングと内容は

これらの明示義務については、使用者は、無期転換申込権が発生することになる契約の更新ごとに文書又は所定の方法で明示が必要である。その内容は、「無期転換申込み機会の明示」として、「無期転換の申込みの要件を満たしたので、今回の契約期間満了の翌日から無期雇用に転換できること。」

「無期転換後の労働条件の明示」として、無期転換後の労働条件について新たな労働条件となる部分の内容及び同一部分はその旨の明示をする。

告知版

》令和6年度第1回 理事会・幹事会

理事会・幹事会

日時 4月18日(木) 14:40 ~ 18:00
 会場 バレスホテル大宮
 配信 Zoomによるオンライン
 内容 議案・講演会・懇親会
 講師 東京大学先端科学技術研究センター教授 廣井 悠 氏

》令和6年度定時総会

定時総会

日時 5月15日(水) 13:30 ~ 18:00
 会場 バレスホテル大宮
 内容 令和5年度決算・事業報告、令和6年度予算・事業計画
 講師 早稲田大学ラグビー部元監督 中竹 竜二 氏

》令和6年度埼玉県産業労働部主要施策説明会

その他

日時 4月22日(月) 14:00 ~ 16:00
 会場 ソニックシティビル 403・404

》1on1 ミーティング 3DAYS セミナー

委員会

日時 ①5月23日(木)、②6月24日(月)、③7月18日(木)
 会場 ソニックシティビル 401・402
 講師 ビジネスコーチ株式会社
 パートナーエグゼクティブコーチ 加地 照子 氏

》令和6年度「人事・賃金講座」

高齢者雇用における人事賃金制度見直しセミナー

その他

日時 4月26日(金) 13:30 ~ 16:30
 会場 ソニックシティビル 906
 講師 経団連事業サービス/人事賃金センター センター長
 平田 武 氏

》令和6年度第1回特別セミナー

行動経済学による顧客獲得

特別セミナー

日時 5月24日(金) 15:00 ~ 16:30
 会場 ソニックシティビル 404
 講師 マーケティング&ブランディング・コンサルタント
 昭和女子大学 現代ビジネス研究所研究員
 戸板女子短期大学 非常勤講師
 橋本 之克 氏

会員の動き

新入会員のご案内

小林建材工業(株)

代表取締役 小林 洋一
 熊谷市弥藤吾 2038-2
 電話 048-588-2131
 (資) 1,000万円
 (従) 12名
 建築材料販売

(株)あいはな

代表取締役 松崎 寛
 春日部市増田新田 391-3
 電話 048-731-7031
 (資) 300万円
 (従) 49名
 介護サービス

(株)ヨシザワ建築構造設計

取締役会長 吉澤 宏泰
 東京都中央区日本橋浜町
 2-13-6 浜町ビル3階
 電話 03-5641-4430
 (資) 6128万円
 (従) 60名
 建築の設計・施工

代表者変更

(株)JTB埼玉支店

支店長
 黒崎 徹(旧 納代 信也)

住所変更

望月印刷(株)

(本社移転)
 さいたま市大宮区桜木町 1-195-1
 大宮ソラミチ KOZ11F

(株)高麗川カントリー倶楽部

取締役社長 木村 謙一
 日高市大字北平沢 1485
 電話 042-989-3131
 (資) 8,000万円
 (従) 74名
 ゴルフ場運営

フルールウーノ(株)

代表取締役 山田 秀男
 さいたま市浦和区領家 7-5-3
 電話 048-831-9082
 (資) 1200万円
 (従) 64名
 葬祭業